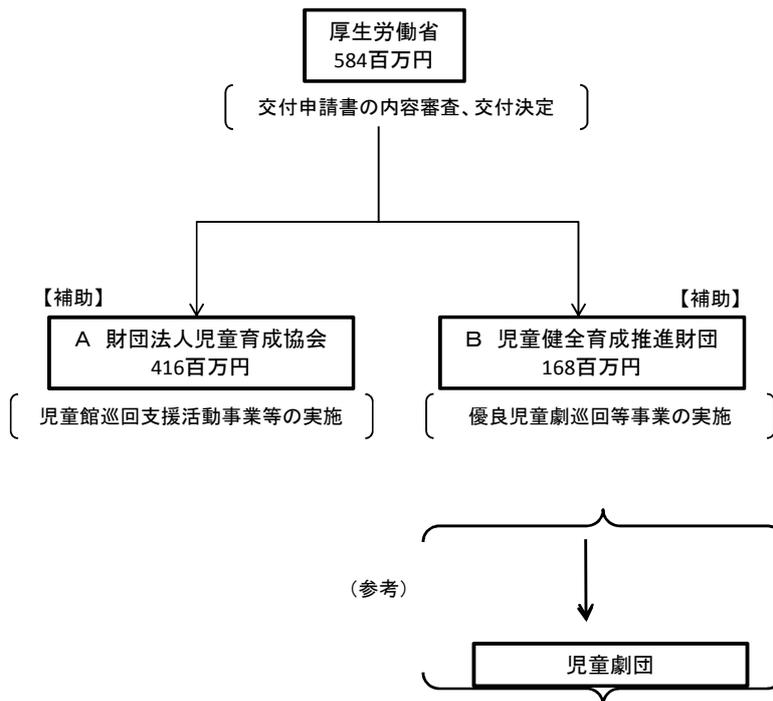


平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

<b>事業名</b>	優良児童劇巡回等事業費		<b>担当部局庁</b>	雇用均等・児童家庭局		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成6年度		<b>担当課室</b>	育成環境課		為石 摩利夫			
<b>会計区分</b>	年金特別会計子どものための金銭の給付勘定		<b>政策・施策名</b>	VI-2-2 児童の健全な育成及び資質の向上に必要なサービスを提供すること。					
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	児童手当法第29条の2		<b>関係する計画、通知等</b>	優良児童劇巡回事業等の国庫補助について(厚生事務次官通知 平11.6.15厚生省発児第103号)児童館巡回支援活動等事業費等の国庫補助について(厚生事務次官通知 平6.6.23厚生省発児第109号)					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	(公財)児童育成協会及び(財)児童健全育成推進財団が、これまで培ってきた児童の健全育成に係る豊富な知識・経験、様々なノウハウ及び全国規模のネットワーク等を活用し、地域差のない児童健全育成の普及、児童館職員のレベルアップを図るものである。								
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	こどもの城の各事業部が行っている子どもと親の遊びを中心とした活動プログラム、社会保障審議会で推薦された児童劇(児童参加型)を全国の児童厚生施設等に巡回・提供する事業等に必要な経費を補助。 ○実施主体:(公財)児童育成協会、(財)児童健全育成推進財団 ○補助率:定額								
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求			
		当初予算	733	593	584	471	458		
		繰越し等							
		計	733	593	584	471	458		
	執行額	733	593	584					
	執行率(%)	100%	100%	100%					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	○児童館巡回支援活動等事業費等 本事業は、こどもの城で開発した活動プログラム等を全国に対して普及・啓発を図ることにより、地域差のない児童健全育成、児童館職員のレベルアップを図るものであるが、各地域における児童健全育成の状況や児童館職員のレベルは様々であることから、一律の成果目標を設定することは馴染まない。(成果実績は、児童館巡回支援活動等事業実施箇所数)		成果実績	箇所	47	47	47	-	
			達成度	%	-	-	-		
	○優良児童劇巡回事業等 本事業は、児童に優れた児童福祉文化財を提供するための児童劇の全国での公演及び児童館職員等に対する研修の実施を内容とするものであるが、文化財の普及・啓発に関する個別の成果目標の設定は事業の性質上馴染まないほか、児童館職員の研修についても、各地域の児童館職員のレベルも様々であることから、一律の成果目標の設定は馴染まない。(成果実績は、児童劇巡回事業の参加者数とこども映画祭の参加者数の合計)		成果実績	人	42,869	41,519	38,720	-	
		達成度	%	-	-	-			
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	○児童館巡回支援活動等事業費等 全ての児童館職員を対象に、「こどもの城」で開発した活動プログラム及び唯一国立の児童館として培った専門的知識・技能の普及を図り、全国の児童館による健全育成活動の活性化、質の向上を図る。(活動実績は、児童館巡回支援活動等事業実施箇所数)		活動実績 (当初見込み)	回	47	47	47	-	
					(47)	(47)	(47)	(47)	
	○優良児童劇巡回事業等 児童劇の巡回講演やこども映画祭の上映、児童館、放課後児童クラブの職員に対する研修等を全国で行った(平成24年まで)。(活動実績は、児童劇巡回事業の実施回数とこども映画祭の実施回数の合計)		回数		383	376	364	集計中	
				(280)	(304)	(357)	(150)		
<b>単位当たりコスト</b>	集計中		算出根拠	○児童館巡回支援活動等事業等 集計中 ○優良児童劇巡回等事業等 集計中					
<b>算内訳 平成25・26年度予</b>	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	児童館巡回支援活動等事業費		337	337	巡回公演委託料の箇所数の削減				
	優良児童劇巡回等事業等		134	120					
	計		471	458					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
必要投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、全国で地域差のない児童健全育成の普及、児童館職員等の資質向上を図るものであることから、国が関与する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本事業は、全国で地域差のない児童健全育成の普及、児童館職員等の資質向上を図るものであることから、国が関与する必要がある。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	本事業は、地域差のない児童健全育成の普及、児童館職員等の資質向上を図るために必要な手段であり、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	全国で地域差のない児童健全育成の普及、児童館職員等の資質向上を図る上で必要なノウハウを持つ2法人に対して支出をしており、選定は妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	交付要綱で適切な基準額を算定している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	交付要綱等で対象経費等を定めている。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	過去の行政刷新会議の指摘を踏まえるなどして、事業の実施に必要な経費に限定して予算計上している。	
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	地域差のない児童健全育成の普及、児童館職員等の資質向上を図る上で必要なノウハウを持つ2法人に対して支出をしており、実効性の高い手段となっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	児童館巡回支援活動等事業、優良児童館巡回等事業ともに、活動見込と同程度若しくはそれ以上の実績を残している。	
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	—	
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	—	—	—		
	—	—	—		
点検結果	<p>少子化や核家族化の進行、都市化の進展、地域社会の子育て機能の低下等に伴う育児不安の広がり、多様な人間関係を経験する機会の減少など、子どもや家庭を取り巻く環境の変化を踏まえ、児童が健やかに生まれ育つための環境づくりが喫緊の課題である。</p> <p>平成24年度においては、全国の児童館職員に対する研修を47回実施し、また、児童館の巡回公演や放課後児童クラブ職員に対する研修等を364回実施したところであるが、引き続き地域差のない児童健全育成の普及、全国の児童館職員のレベルアップを図る必要があることから、継続して事業を実施する。</p>				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
善事業内容の改	本事業については、支出対象の限定・重点化の観点から事業内容等の見直しを図るべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
結減	巡回公演委託料の箇所数の削減				
備考					
<p>平成21年11月26日 行政刷新会議事業仕分け  ○優良児童館巡回事業（第一弾 事業番号2-28）  評価結果:「予算要求通り」  取りまとめコメント:大変難しい判断になるが、取りまとめ役の判断として、第2WGの結論は「予算要求通り」としたい。様々な意見があったが、「予算縮減」という意見の中でも、よく見てみると、「総額は要求通り。但し、財団についてはリストラすべき。」という意見や、「予算を大幅に劇団にまわして欲しい。」という意見、あるいは「天下りである1300万円の理事についてはリストラすべき。」、さらには「児童厚生員等研修事業や放課後子どもプラン指導者研修等事業については精査する必要がある」というような意見があった。つまり、子どもたちに直接、夢と希望を与えるような事業については基本的に大切にすべきということである。もちろん、文化庁や文科省との重複がないように厚生労働省としてやる意義、即ち、子どもたちに良質な芸術や文化に触れさせると同時に、子どもたちの居場所を作ること、また子どもたちに参加の機会を与えるということがコンセプトであったと思うので、このコンセプトをしっかり守った上で事業を続けていきたい。特に、厳しい財政状況の中で劇団の方たちが苦勞しているという現実があるので、皆さんが頑張っていただけよう配慮を求めたいと思う。また、児童厚生員等研修事業や放課後子どもプラン指導者研修等事業については、廃止することが可能かどうか、政務三役とよく話し合いながら、より良いものを求めていきたいと思う。</p>					
<p>平成22年10月28日 行政刷新会議特別会計仕分け  ○児童館巡回支援活動等事業（第一弾 事業番号2-28）  評価結果:「子育てと仕事の両立という本来の目的に合致する施策に厳しく絞り込む 予算要求の圧縮(25%目途)」</p>					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	0848	平成23年	0757	平成24年	0665

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
（資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する）  
（単位：百万円）

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(公財)児童育成協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	児童館巡回支援活動事業等を行うために必要な費用	416			
計		416	計		0
B.(財)児童健全育成推進財団			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	優良児童劇巡回等事業を行うために必要な費用	168			
計		168	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)児童育成協会	児童の健全育成及び資質の向上に資する施設の経営等	416		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)児童健全育成推進財団	児童の健康の増進及び情操の陶冶を図るために必要な事業、児童館の設置運営に関する知識の普及啓発等	168		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					